

子どもたちの安全のために

市内の新小学1年生634名に対し、子どもたちを守る地域貢献活動の一環として、安心安全な学校生活を送れるようにとの願いを含め、常陽銀行とJA常陸から記念品が贈呈されました。常陽銀行友部支店長の水上 浩みずかみ ひろしさんから防犯ブザーが、JA常陸代表理事副組合長の小磯 節子こいそ せつこさんから黄色い通学帽がそれぞれ山口市長と今泉教育長に手渡されました。また、ランドセルカバーは笠間地区交通安全協会、黄色い傘は笠間市交通安全母の会より贈呈されました。



山口市長と水上さん



今泉教育長と小磯さん

空家等の適正な管理の推進に関する協定書を締結

市では、空家等が放置され、管理不全な状態となることを防止するため、(公社)笠間市シルバー人材センターと「空家等の適正な管理の推進に関する協定書」を締結しました。

所有者から依頼のあった空家等の見回り点検などを1回2,000円(事務費別)で行い、家の外から目視で異常の有無を確認し、写真付き報告書を所有者に送付します。また、空家の敷地に生えている草の除草や樹木の剪定などの依頼も受け付けています。



山口市長と入江理事長

笠間市ヘルスリーダーの会が結成10周年

平成18年に旧笠間市・友部町・岩間町の食生活改善推進協議会が1つとなり、現在は市の健康づくり団体として、食育の推進や生活習慣病予防を中心に各地区で活動している、笠間市ヘルスリーダーの会が10周年を迎えました。

4月22日(金)には、10周年記念として、友部公民館において式典と記念講演会を行いました。講演会では、水戸済生会総合病院腎臓内科部長 海老原 至えびはら いたるさんから「慢性腎臓病予防」について講話をいただきました。今後も各地区で生活習慣病予防の調理実習や健診の受診勧奨など、市民の皆さんの健康づくりに役立つ実践的な活動を進めていきます。



主催者代表あいさつ 小野 敬子おの けいこさん

笠間地域青年経営者クラブ会員が表敬訪問

四季折々の旬な食材を食べて育った新しいブランド豚「四季豚しき」を開発し、その功績が認められ、2年連続で農林水産省経営局長賞を受賞した、養豚農家の柏井 一斗かしわい かすとさん(橋爪)と、茨城県農業青年プロジェクト実績発表会で、笠間地域のソバの品質調査結果を発表して県代表に選出された、込山 槇一こみやま しんいちさん(押辺)、小西 秀実こにし ひでみさん(飯田)が、笠間地域青年経営者クラブ会長の大峰 渉おおみね わたるさん(土師)とともに表敬訪問されました。

柏井さんは「これからもプロフェッショナルとしてこだわりを持ってがんばって取り組んでいきたい」と話されていました。



(左から)小西さん・込山さん・山口市長
大峰さん・柏井さん

新笠間市誕生10周年を祝って

平成18年の合併から10年を迎える3月19日(土)に、笠間公民館で新笠間市誕生10周年記念式典を開催しました。市民や市政に関わる多くの方々に出席をいただき、山口市長からは「笠間市に住んでよかったと実感していただけるようなまちづくりを、これからも皆様と一緒に進んでいきたい。」と決意が述べられました。

また、式典では笠間市の将来を担う市内小中学校、高校に通う児童・生徒から応募した「笠間未来キャッチフレーズ」の最優秀賞と優秀賞を受賞した6人の表彰式が行われました。

式典終了後には、坂本九さんの妻でかさま応援大使である柏木 由紀子さん、長女の大島 花子さん、次女の舞坂 ゆき子さんの3人で結成したユニット「ママエセフィーユ」のミニコンサートが行われ、素敵な歌とトークで会場を盛り上げていただきました。



笠間未来キャッチフレーズ受賞者の皆さん



(左から)大島さん・柏木さん・舞坂さん

かさまこども園の入園式が行われました

笠間市初の公立認定こども園「かさまこども園」の第1回目となる入園式が4月8日(金)に行われました。3月まで笠間幼稚園とてらざき保育所に通っていた子どもたちと、4月から新しく入園する子どもたちが、これから始まる新しい生活への期待に胸をふくらませていました。

また、笠間市の子育ての中核を担う施設として、園内には親子の触れ合いの場である子育て支援センター「みつばち」と、教育的支援を必要とする幼児を対象とした「ことばとところの教室(さくらんぼ教室)」も併設しています。



かさまこども園

茨城県立笠間陶芸大学校が開校

昭和25年に設立された茨城県工業技術センター窯業指導所が、さらなる機能充実を図るために改称し、茨城県立笠間陶芸大学校が開校しました。

4月7日(木)に行われた開校記念祝賀会には、陶芸学科・研究科合計12名の新入生と、橋本 昌茨城県知事などを始めとする関係者約130名が参加しました。

これまで試験研究・伝統技法継承機関として延べ800名の修了者を輩出し、笠間焼産地形成に貢献してきましたが、これからは現代陶芸をリードする人材を輩出する産地、かつ手づくりを基本に日用陶磁器を生産する産地を担う、世界に羽ばたく人材育成に取り組みます。



記念祝賀会の様子